

京都市「気候非常事態宣言」発出の要請文

Fridays for Future 京都

京都市長 門川大作様

京都・関西で気候変動問題に危機感を抱く若者で作る「Fridays for Future 京都」は、本日 5 月 24 日（金）に京都市内で「Global Strike for Climate（気候を守るための世界一斉ストライキ）」を開催します。

本アクションの目的は、危険な気候変動を防止することです。その手段として、京都市による「気候非常事態宣言」の発出を要請します。非常事態宣言とは、政府・自治体・議会等による「気候変動を最大の脅威と捉え、政策的に取り組むべき最優先の事項である」ことを認め、宣言するキャンペーンのことを指します。2019 年 5 月 13 日時点で、536 の機関及び、6100 万人の市民が「気候非常事態宣言」を発出しており、気候変動が最大の脅威として世界的に捉えられていることが如実に表れております。

本要請の前提として、京都議定書誕生の地である京都市の気候政策は、日本の自治体の中で先進的な取り組みであると理解しています。また、日本政府の長期戦略（案）が世界の潮流に逆行するような矛盾に満ちた内容である一方で、「1.5°Cを目指す京都アピール」を京都市長自らが表明したことを、Fridays for Future 京都は歓迎いたします。京都市には、更に野心的な気候政策を掲げ、他の自治体・企業・政府等のアクターをボトムアップ的に突き上げて頂くことを要請します。

ご一読いただきまして、ありがとうございます。